

令和7年8月1日

報道関係各位

岩手県立大学 高等教育推進センター

「2025復興防災学習プログラム」の実施について

オハイオ大学（米国オハイオ州）、中部大学（愛知県）及び公益財団法人本庄国際奨学財団（東京都）と岩手県立大学との合同による「2025 復興防災学習プログラム」を下記のとおり実施しますので、当日の取材等につきましてよろしくお願いいたします。

記

1 期日及び場所

- (1) 期日 令和7年8月8日（金）～10日（日）
- (2) 場所 陸前高田市及び大船渡市内

2 主なプログラム（日程詳細は別紙「活動日程表」のとおり）

期日		プログラム	場所
8月8日	18:30～20:30	事前学習・交流会	岩手県立野外活動センター
8月9日	09:00～12:00	東日本大震災津波伝承館・津波遺構等見学	高田松原津波復興祈念公園
	13:00～16:30	被災住民との交流活動（水ボウ）等	県営栃ヶ沢アパート（陸前高田市）
8月10日	10:00～11:30頃	令和7年大船渡市大規模林野火災被災住民支援活動（水ボウ）	大船渡市赤崎町長崎・外口地区

3 参加予定者数

所属	学生	教職員等	計
オハイオ大学	14	2	16
本庄国際奨学財団	26	4	30
岩手県立大学	35	13	48
計	75	19	94

※本庄国際奨学財団の「学生」は、当該財団の奨学生である日本国内の大学生又は大学院生（外国人留学生を含む）であること。

※中部大学は日程の都合により今回の参加者なし

4 その他

- (1) 本プログラム実施の経緯等は、別紙のとおりです。
- (2) オハイオ大学の学生・教職員は8月4日に岩手県立大学に来訪し、次のとおり本学の学生との交流プログラム等を計画しています。

8月4日（月）	【夕方】盛岡さんさ踊り見学
8月5日（火）	【午前】キャンパスツアー、【午後】文化交流（茶道教室）、【夕方】Welcome Party
8月6日（水）	【午前午後】蕎麦打ち・チャグチャグ馬コ絵付け体験（雫石町内）
8月7日（木）	【午前午後】盛岡市内街歩き

【問合せ先】岩手県立大学教育支援室 関屋・高橋

TEL:019-694-2016 FAX:019-694-2011

E-mail: sekiya@ipu-office.iwate-pu.ac.jp



〒020-0693 岩手県滝沢市巢子 152-52 <https://www.iwate-pu.ac.jp/>

【別紙】

「復興防災学習プログラム」実施の経緯等

(1) 「水ボラ」

2011 年 3 月の東日本大震災の発災直後、岩手県立大学の教職員と学生が中心となり、全国からの支援物資として岩手県に寄せられた飲料水ペットボトルを、仮設住宅をはじめとした被災者の居住世帯に対し運搬・配布した活動。陸前高田市を中心に、上水道復旧までほぼ毎週行われた。

この活動は、ライフラインが復旧し支援物資の提供が終了した後も、「被災した地域住民等に飲料水を配布することで会話のきっかけとし、高齢者等への『声かけ』『見守り』を行うとともに、新たな地域コミュニティ形成の一助とする」ことを趣旨として定期的に活動が続けられた。この際の活動における飲料水ペットボトルは、本庄国際奨学財団・(株)伊藤園から寄付を頂いたものである。

(2) オハイオ大学、中部大学と岩手県立大学との合同ボランティア活動

(1) とは別に、東日本大震災津波発災直後に、オハイオ大学（米国オハイオ州アセンズ市）から岩手県立大学に対し、被災地での合同ボランティア活動実施の提案があった。これを契機に、オハイオ大学の協定校である中部大学（愛知県春日井市）に留学中の当該大学生や教職員と、岩手県立大学の学生・教職員が毎年度一緒に、宮古市等において被災地支援活動を行っていたもの。

2013 年以降は、この活動に「水ボラ」を取り入れ、本庄国際奨学財団の奨学生である全国の大学生等も加わり、陸前高田市で「拡大水ボラ」として 2019 年度まで毎年度実施した。

(3) 復興防災学習プログラム

Covid-19 感染症の拡大による 2 年間の休止を経て、2022 年からは、「拡大水ボラ」を「サービスマーケティングを中心とした防災学習」に位置付けを進化させ、前年に完成した高田松原津波復興祈念公園と岩手県立野外活動センターを中心会場として「復興防災学習プログラム」と名称を変更して実施している。

2023（令和 5）年の実施状況については、下記のとおり岩手県立大学 Web ページに掲載済。

- 岩手県立大学年報（令和 5 年度）

https://www.iwate-pu.ac.jp/256a85771a5344bc799cbd2ff7c2e3ca_2.pdf

- 国連アカデミック・インパクト活動報告

<https://www.iwate-pu.ac.jp/internationalexchange/unai/2023.html>

(4) 公益財団法人本庄国際奨学財団について

(株)伊藤園の創始者である本庄正則氏が、個人資産により設立した財団。奨学金支給とそれに関連する交流事業等を行っており、主に発展途上国とその地域の平和的発展を願い、将来その国・地域のリーダーとなり得る優秀な学生に対して、奨学金援助を行っている。

（公益財団法人本庄国際奨学財団ホームページ「<https://www.hisf.or.jp/>」から引用）

活動日程表

利用団体名

岩手県立大学（2025復興防災学習プログラム）

No,

1

2025. 7. 29現在

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	備 考			
8月8日 金曜日	活動内容									【1号車】13：00岩手県立大学本部棟前発（休憩1か所）⇒15：30県立野外活動センター着 【2号車】13：00盛岡駅西口マリオス1階前発⇒14：30花巻空港発⇒16：00県立野外活動センター着 【3号車】13：15一ノ関駅発⇒15：00県立野外活動センター着		開講式・オリエンテーション	ベッドメイキング	夕食	水ボラ打合せ ／ 交流会① （アイスブレイク） ／ キャンプファイヤーダンス練習		自由時間・入浴 （本庄国際奨学財団はバス移動）		就寝準備	就寝・消灯	〔本庄国際奨学財団宿泊先：ホテルルートイン大船渡〕 〔野外活動センター宿泊者数〕 引率者 男 5名 女 5名 研修生 男 17名 女 32名 合計 59名	
	利用施設											創作室	宿泊室	食堂	創作室		宿泊室・浴室		宿泊室			
8月9日 土曜日	活動内容	起床洗面 荷物整理	清掃	朝食	移動準備	バス移動	東日本大震災津波伝承館・津波遺構等見学		昼食（弁当）	バス移動	東日本大震災被災住民との交流等 水ボラ（飲料水配布活動） 本庄財団提供「落語会」		バス移動	休憩・キャンプファイヤー準備	夕食	交流会② キャンプファイヤー（世界の歌と踊り） ／ 閉講式		自由時間・入浴 （本庄国際奨学財団はバス移動）		就寝準備	就寝・消灯	〔本庄国際奨学財団宿泊先：ホテルルートイン大船渡〕 〔野外活動センター宿泊者数〕 引率者 男 5名 女 5名 研修生 男 17名 女 32名 合計 59名
	利用施設	宿泊室	割当場所	食堂			高田松原復興祈念公園				陸前高田市 県営栃ケ沢アパート				宿泊室等	食堂	キャンプ場（荒天時体育館）		宿泊室・浴室		宿泊室	
8月10日 日曜日	活動内容	起床洗面 荷物整理	清掃	朝食	退所点検準備	退所点検	退所・バス移動	大船渡市赤崎町長崎漁港集合、外口地区で水ボラ	旧蛸ノ浦小学校仮設住宅訪問	昼食（キャッセン大船渡で各自）	バス移動（遠野市経由）	休憩道の駅遠野風の丘	バス移動1号車：県立大学解散2号車：盛岡駅解散	〔オハイオ大学岩手県立大学〕 〔本庄国際奨学財団〕								〔宿泊者数〕 引率者 男 名 女 名 研修生 男 名 女 名 合計 名
	利用施設	宿泊室	割当場所	食堂	宿泊室		大船渡市赤崎町地内		バス移動		昼食（花巻市銀河プラザ山猫軒）	こけし絵付け体験（花巻市交流会館）	新花巻駅・花巻空港解散									
月 日 曜日	活動内容																			〔宿泊者数〕 引率者 男 名 女 名 研修生 男 名 女 名 合計 名		
	利用施設																					
〔その他〕 プログラムは変更となることがありますので、あらかじめご了承ください																						